

北海道教育大学における 教職実践演習に向けた取り組み 概要説明

平成20-22年度文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム」(教育GP)

「往還型カリキュラムによる教員養成の改善—
ステップアップ型チェックリストをコアにした教師力育成プログラム」

北海道教育大学の5キャンパス



北海道教育大学の5キャンパス

教員養成3キャンパス

札幌校

旭川校

釧路校

新課程2キャンパス

函館校

岩見沢校



札幌校



旭川校



釧路校



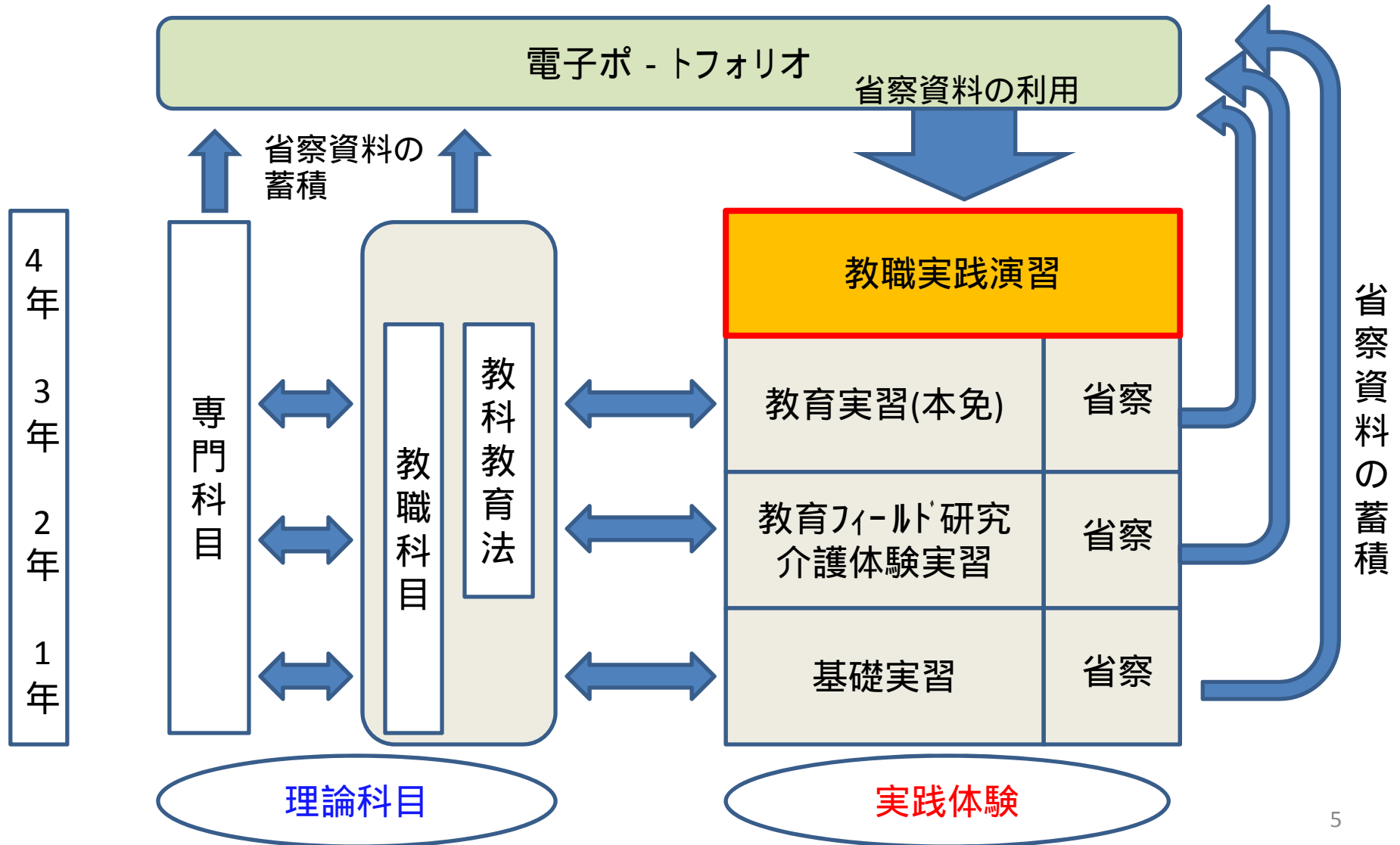
函館校



釧路校

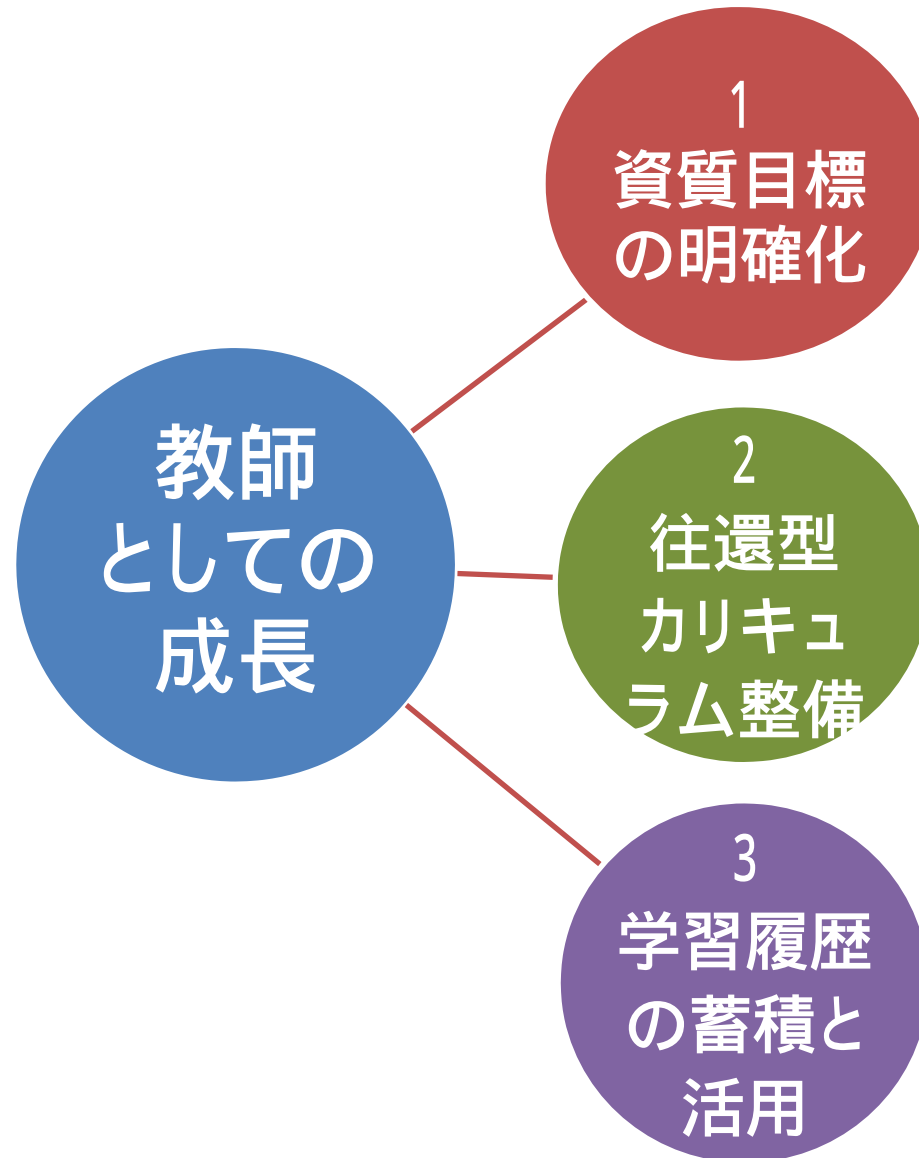
理論と実践の往還イメージ

教職実践演習へのつながりと電子ポートフォリオの役割



北海道教育大学の教育GP

教師としての成長を支える3つの取り組み



1
資質目標
の明確化

- チェックリストの開発と改訂

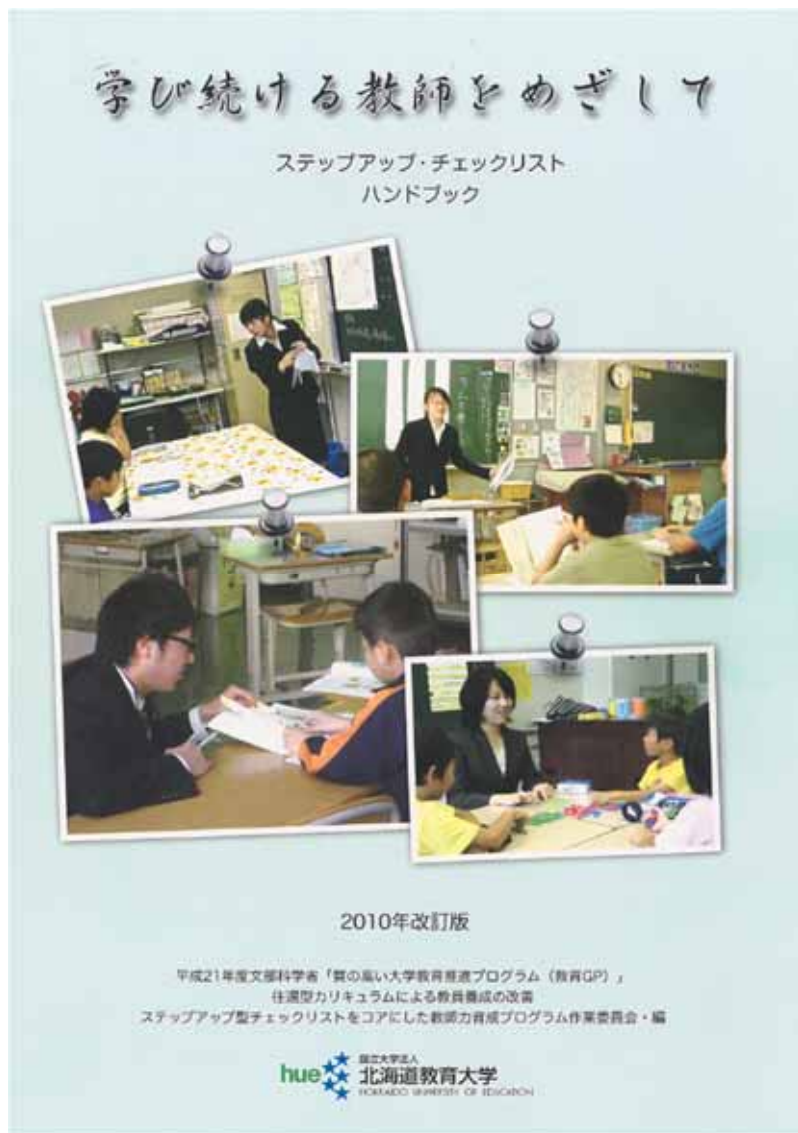
2
往還型
カリキュ
ラム整備

- 理論と実践を結ぶカリキュラム整備
- 各授業のシラバスに資質目標を設定

3
学習履歴
の蓄積と
活用

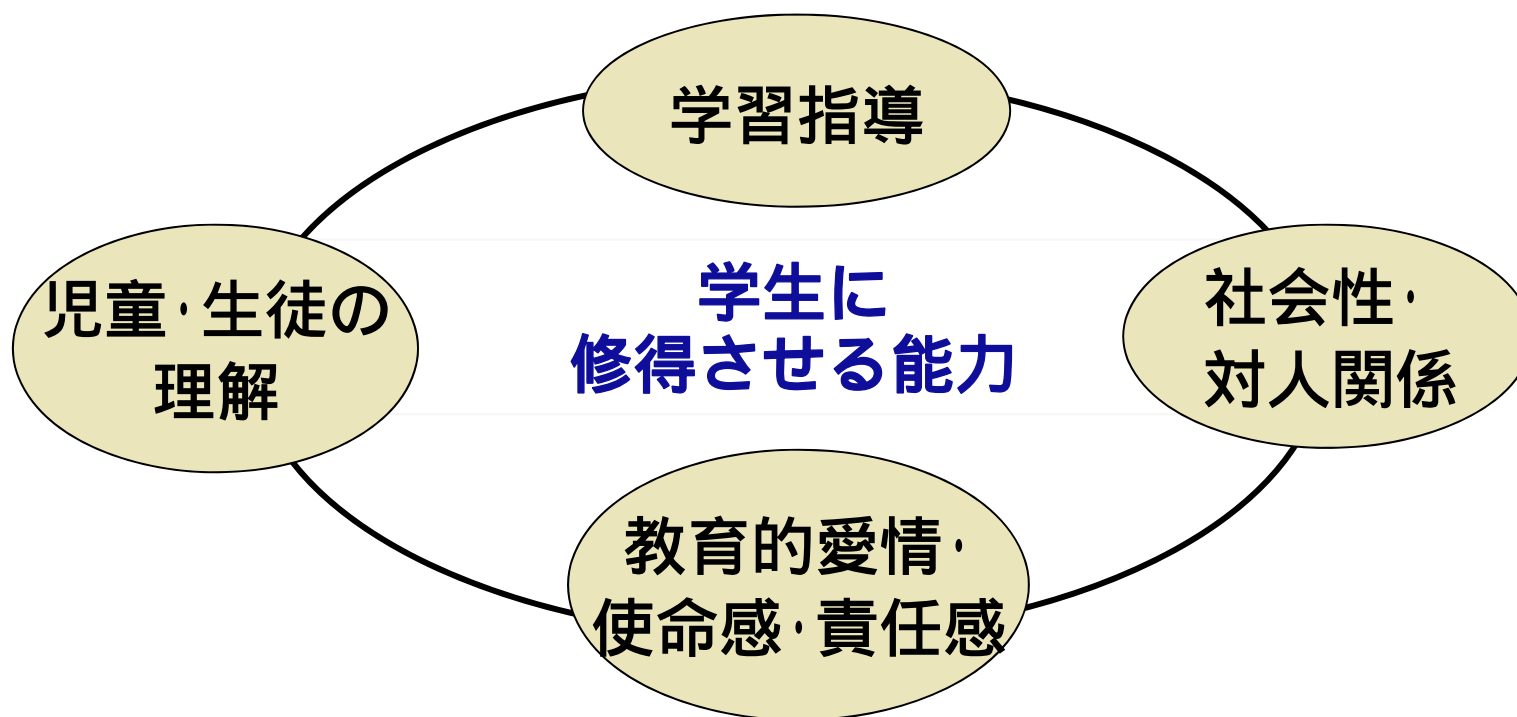
- 電子ポートフォリオによる学習履歴の蓄積・活用
- 各学年における省察機会の設定

1. ステップアップ・チェックリスト



- 大学教員・現職教員・
附属教員・SVによる検討で
H17版(258項目)を
134項目に精選
- 4つの資質能力に分類
 - 1) 学習指導力
 - 2) 社会性・対人関係力
 - 3) 児童生徒理解
 - 4) 使命感・責任感,
教育的愛情
- 資質目標を階層化
(実習前・中・後)

教師の資質の4要素



学習指導力 (ハンドブック p.9)

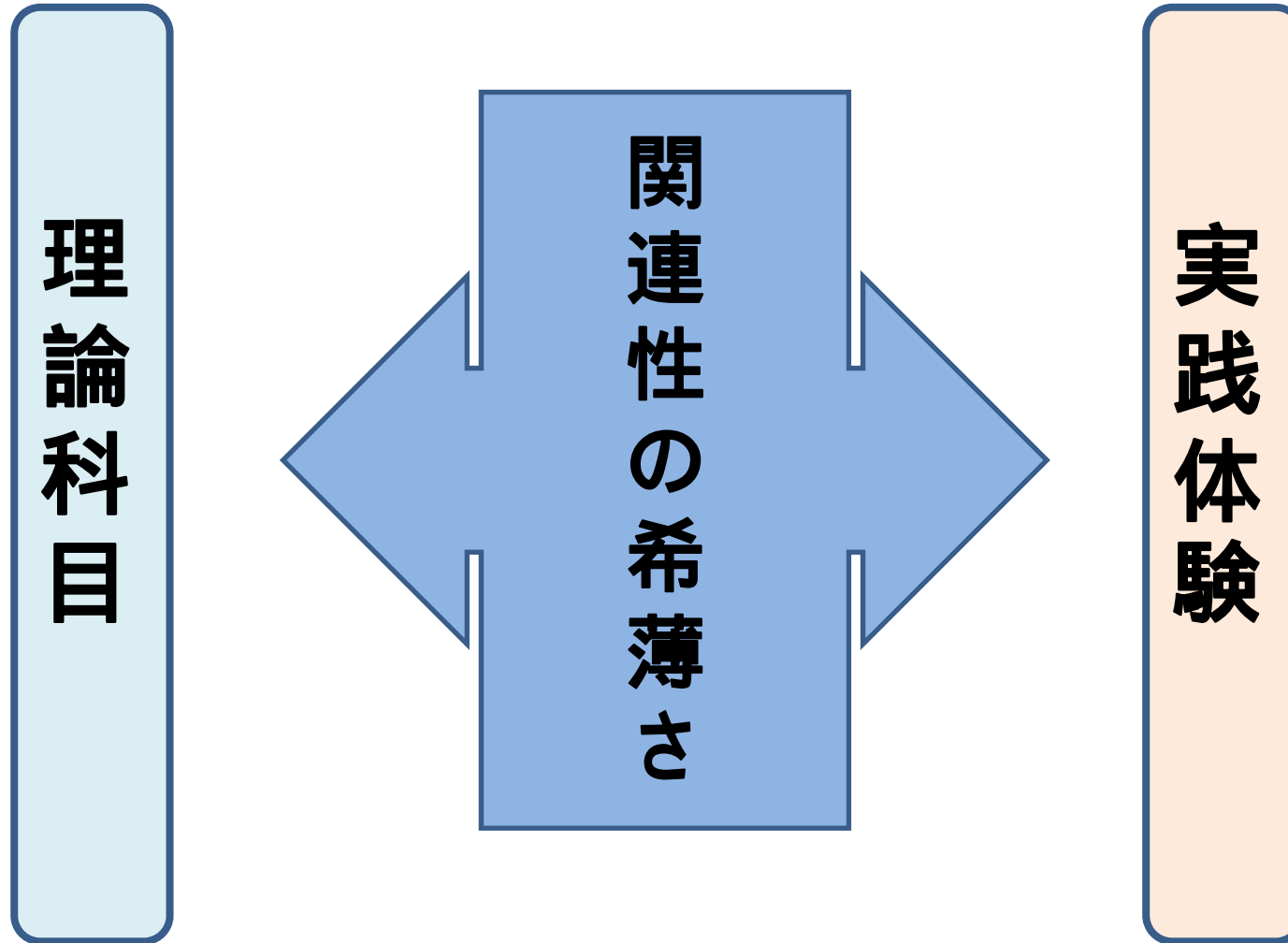
1 学習指導

(1) 専門的知識・技能の習得と自己学習

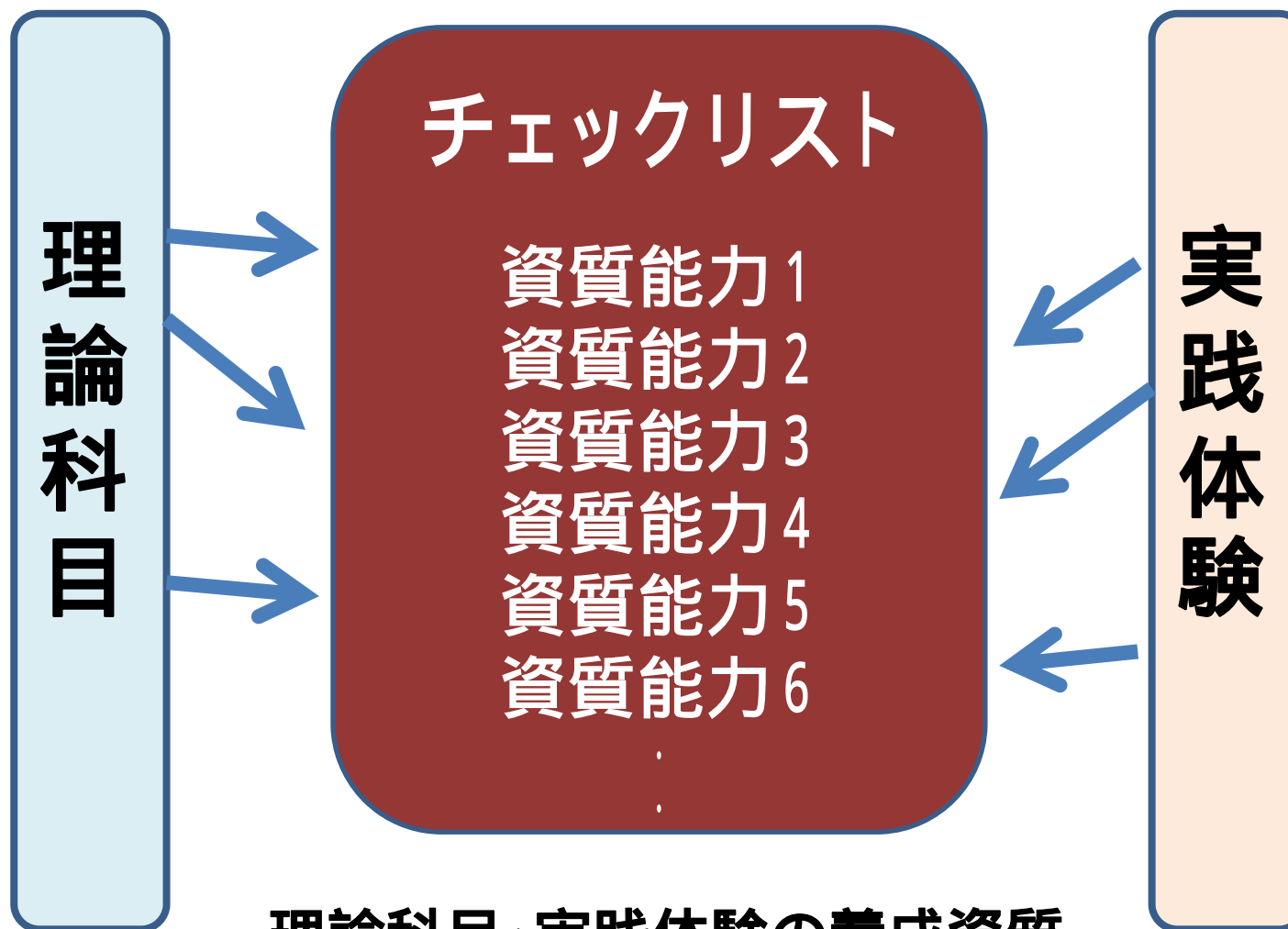
前 中 後

- | | | | |
|-------|--|---|---|
| 1-1-1 | 大学の図書館やインターネットなどを使って、専門領域に関連した必要な情報を積極的に収集・活用し、自己学習の発展向上を図る。 | ○ | ● |
| 1-1-2 | 自己の実践的資質の向上を図るために、現場の授業を参観したり、学校の授業等への支援活動に積極的に参加する。 | ○ | ● |
| 1-1-3 | 大学の講義・演習などを通して、学習指導に関わる今日的な教育の動向や課題、学校の様子、児童生徒の特質を知る。 | ○ | |
| 1-1-4 | 「学習指導要領」に目を通し、特に専門科目の目的・目標・内容を学年進行に伴ってより深く理解する。
・教科内容の系統的理解、各校種ごとの内容のつながり | | ● |

2. 往還型カリキュラム整備



往還型カリキュラム整備



理論科目・実践体験の養成資質を明示し、相互の関連づけをした

3 . 電子ポートフォリオと省察機会

- 実践体験科目およびその他の免許科目に適用される。
- 実践体験科目では固定項目に加え自己選択項目を追加する場合もある。その他の免許科目は固定項目のみ。
- 各科目のシラバスに設定された資質目標(チェックリスト)について、学期末に学生が達成度を入力する。
- ふり返りの機会を通じ、省察結果や提出物を蓄積する。

従来の省察記録

教育実習自己計画書（チェックリスト）

専攻	学生番号	氏名
----	------	----

自己目標	<p>2月の実習では、特定の子どもとばかりかかわることが多くなってしまっていたため、今回の実習では、少しでも多くの子どもと積極的にかかわるようにしていきたい。</p> <p>また、2月は国語の授業しか行わなかったため、他教科の授業に取り組んだり、道徳や特別活動の指導法を学んだりしたいと思う。</p>
------	--

チェック項目	十分できた	できた	少しできた	あまりできなかった
学 1-3-1-2 【固定】 児童生徒の本時学習に関わる前時及び既習内容についての理解や習熟の程度を把握する。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
習 1-3-2-4 【固定】 大学で学んだ専門的知識・技能や指導教員の指導、助言等を基に「教えること」「育てること」…	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1-3-3-5 【固定】	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

チェックリストによる自己評価入力画面

(学習指導力)

科目名: 教育実習(中学校)

教師力チェックリスト履歴

1. 学習指導力

A:十分できた B:できた C:少しできた D:あまりできなかった

自己設定目標		自己評価	削除
児童生徒の本時学習内容に関わる前時及び既習内容につ...	表示 ▶	<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input checked="" type="radio"/> C <input type="radio"/> D	
大学で学んだ専門的知識・技能や指導教員の指導, 助言...	表示 ▶	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	
いろいろな指導技術を適切, 効果的に活用する	表示 ▶	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	
[Lv3] 03-03-02 明るい表情やゆっ...	表示 ▶	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	削除 ▶
行追加 ▶			
		<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	削除 ▶
行追加 ▶			

本GPの成果

- 学生の目標設定と自己評価の目安となる資質目標の設定
- 共通の資質目標群を軸とした理論科目と実践体験科目の関連性を担保する仕組みの構築
- 省察機会の設定により、学生の教職志向と成長を段階毎に確認する仕組みを構築したこと
- 学習履歴を蓄積するための仕組みの構築とデータの活用

今後の課題

- 個人の発達段階に合わせた
固定の資質目標と、
個性に合わせた資質目標の柔軟な設定
- カリキュラム全体の資質目標の網羅性
- 自己評価の妥当性の向上
(自らの姿を対象化するための「鏡」とは)
- ふり返りの指導体制の充実
- 最終的な実践演習の運営形態と方法